

## 2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

ふりがな 氏名	やました そういち 山下 聡一
(研究テーマ名) 近世瀬戸内の塩田流通と港湾都市	
(研究活動実績) <p>2013 年 8 月 24～25 日の両日にわたって開催された「近世身分社会の比較史一法と社会の視点から一」（於大阪市立大学経済学部第四会議室／近世大坂研究会、都市研究プラザ、都市文化研究センター主催）において、「近世大坂の塩流通と御国産政策—赤穂藩を中心に—」と題する、研究報告を行った。ここでは、都市大坂に塩を供給する主産地・赤穂藩で採られた国産政策計画の再検討を行うとともに、流通を担う問屋・仲買仲間の利害関係や、流通構造に吸着する都市商人や藩のありように迫った。とくに河口部の荷上場付近の船宿における「売買」と、淀川水運・旧大和川水運の結節地点にある八軒屋浜の間屋における「売買」があることに注目した。この成果は、近く、論文発表する予定である。</p> <p>これとあわせて、赤穂柴原家文書（兵庫県赤穂市・国立国文学研究資料館蔵）、備中乙嶋の守屋家文書（九州大学蔵）など、収集史料の読解を進め、継続調査を進めている。</p> <p>以上の塩流通とは異なるが、和泉市域の村明細帳を収集し、翻刻史料集（『和泉市史紀要第 20 集 和泉の村の明細帳 I』和泉市史編さん事務局、2014 年 3 月）の刊行を行うとともに、その解題として「村明細帳」と領主支配～様子大概書・村明細帳の史料解題～」を執筆した。都市そのものの調査・研究ではないものの、地域固有の社会構造に即した分析を深めるための基礎作業として位置付けることができる。</p>	